

## 参考資料

2005年11月21日

当参考資料は、F. ホフマン・ラ・ロシュが2005年11月16日（スイス現地時間）に発表した英文プレスリリースを、戦略的アライアンスを締結している中外製薬が翻訳版として、報道関係者の皆様に提供させていただくものです。

従いまして、日本国内と状況が異なる場合があること、また、正式言語が英語であるため、表現や内容につきましては英文プレスリリースが優先されますことをご留意ください。

英文プレスリリースは、<http://www.roche.com/home/media/med-cor.htm> をご参照ください。

2005年11月16日 バーゼル発

## ロシュとギリアード（Gilead）が抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」をめぐる係争に決着

### さらなる協力強化に両社とも強力にコミット

ギリアードおよびロシュは本日、両社が1996年に締結した「開発およびライセンス供与に関する契約」についての係争が終結したことを発表しました。両社は修正契約の下、第三者への製造ライセンス供与も含めグローバルにおける製造の調整を監督する合同委員会、および、米国等の最重要マーケットにおける「タミフル」のシーズン向け販売を調整する合同委員会を設置することになります。また、ギリアードには米国の特定領域における「タミフル」の共同プロモーションの選択権が与えられます。

ロシュ医薬品事業本部長のウィリアム・M・バーンズは、「ギリアードとの修正契約は重要な第一歩となります。両社が協力することで、インフルエンザ流行期の治療と予防だけでなく、世界的なパンデミック対策用備蓄に関する本剤へのニーズに確実に対応することに、さらに注力できることとなります」と、述べています。

また、ギリアードの社長兼CEOであるジョン・C・マーチン博士は、「鳥インフルエンザによるパンデミックの可能性が引き起こした世界的脅威によって、この致命的病気と戦うための包括的対応策の構築を目的として、各国政府、公衆衛生当局、ならびに医薬品業界が協力を求められています。この脅威以外にも、インフルエンザの流行によって世界で毎年何十万人という人が亡くなっています。私たちは、このグローバルな公衆衛生におけるニーズに対応するため、協力と不退换の決意をもってロシュとの係争を終結させました」と、述べています。「タミフル」及びその製造工程の発明者として、ギリアードは自社とロシュの専門知識を組み合わせ、この重要な製品をサポートするもう1つのリソースとして貢献してまいります」。

ロシュは、以前の契約にあったロイヤリティ計算上の売上原価調整を、今後すべて放棄します。「タミフル」の純売上に対してギリアードが得るロイヤリティに変更はなく、年間売上高に応じて14%から22%となります。ギリアードは、2005年9月までの9カ月間の売上実績と第4四半期のパンデミック売上予想に基づき、「タミフル」のロシュにおける2005年通期総売上に対して18から19%のロイヤリティを受け取ることになると見込んでいます。また、2004年通年、および2005年の最初の3四半期分の売上原価調整分放棄に相当するロイヤリティの遡及調整として、6,250万米ドルがロシュからギリアードに支払われます。加えて、2001年から2003年までの売上に対するロイヤリティ係争分としてロシュが支払った1,820万米ドルは、ギリアードがそのまま受け取ります。

### タミフルについて

A型・B型インフルエンザの治療および予防に対する唯一の経口抗ウイルス剤である「タミフル」(オセルタミビル)はギリアードで創製され、1996年にロシュにライセンス供与されました。「タミフル」は、臨床で関連する全てのインフルエンザウイルスに対して活性を示すよう設計されています。ノイラミニダーゼを阻害すると、ウイルスは生体内で他の細胞に広がらず、感染できなくなります。主要な国際研究グループは、インフルエンザの動物モデルを用いた実験より「タミフル」が極東で蔓延する鳥H5N1ウイルスに対して有効であることを示しました。その結果、より多くの政府が「タミフル」の備蓄を開始し、ロシュは増加している需要に対応するための共同製造ネットワークを拡大しています。これまで、ロシュは50カ国余りから発注を受けたり供給したりしています。「タミフル」の製造工程は複雑で長期におよびます。「タミフル」に関する他の情報は、インターネットでご覧ください ([www.roche.com/med\\_mbfstamiflu.pdf](http://www.roche.com/med_mbfstamiflu.pdf))。

### ギリアードについて

ギリアード(Gilead Sciences)は、未対応の医療ニーズ領域における治療薬の創薬、開発、販売を行っているバイオ医薬企業であり、同社のミッションは、命にかかわる病気で苦しむ世界中の患者のケアを推進することです。米国カリフォルニア州フォスターシティに本社があり、北米、ヨーロッパ、およびオーストラリアに営業拠点をもっています。ギリアードに関する詳細は、インターネットでご覧ください ([www.gilead.com](http://www.gilead.com))。

### ロシュについて

ロシュは、本社をスイスのバーゼルに置く、医薬品と診断の領域で活躍する世界トップクラスの研究開発型ヘルスケア企業グループです。疾病の早期発見、予防、診断、治療のための革新的製品およびサービスのサプライヤーとして、ロシュ・グループは人びとの健康とQOLの改善に多方面で貢献しています。ロシュは診断事業では世界第1位、がんおよび移植関連分野ではトップサプライヤー、ウイルス感染症の分野でもマーケットリーダーとなっています。2004年度の売上は、医薬品事業本部では217億スイスフラン、診断事業本部は78億スイスフランでした。世界150カ国に約6万5千人の社員を擁し、多数のパートナー企業と戦略的アライアンスや研究開発契約を締結しており、またジェネンテックと中外製薬両社の株式の過半数を取得しています。ロシュ・グループに関する詳細は、インターネットでご覧ください ([www.roche.com](http://www.roche.com))。

本プレスリリースに使用された商標等はすべて法律で保護されています。

詳しくは、それぞれ下記をご覧ください。

- ロシュ・ヘルスキオスク、インフルエンザについて：[www.health-kiosk.ch/start\\_grip.htm](http://www.health-kiosk.ch/start_grip.htm)
- WHO、鳥インフルエンザについて：[www.who.int/mediacentre/factsheets/avian\\_influenza/en/](http://www.who.int/mediacentre/factsheets/avian_influenza/en/)